

沖縄の養蜂の魅力を発信する「琉大ハニー養蜂部」の設立

沖縄のミツバチは飼育群数で日本一であり、温暖な沖縄では、冬季でも花粉交配用の蜂を増やせることから、国内の園芸農家に多く供給され、県内の養蜂家は、10年で2.7倍になっています。沖縄のミツバチを花粉交配用の蜂としての利用だけにとどまらず、温暖で蜜源が豊富な沖縄だからこそ、その特色を生かした蜂蜜を活用できれば、さらに沖縄の養蜂業の発展をはかれるのではないかと考えています。一方で、琉球大学は県内唯一の農学部を持つ大学ですが、養蜂を学ぶことができる状況にありません。すなわち、養蜂を学びたいという学生がいても、養蜂を学ぶ環境がありません。今回、琉球大学の学生として、沖縄の養蜂を学ぶ場を作るとともに、沖縄の養蜂業界のさらなる活性化につなげていくことを目的として養蜂部の設立に着想しました。

琉球大学の有志団体「琉大まんぐろう部」は、主に農学部の学生が、沖縄作物保護ネットワークの連携機関の社会人を指導者として、農作物の生産活動を通して地域農業の振興を目指した農学を実践的に学ぶ正課外活動として活動しています。アワユキセンダングサという帰化植物の抽出液を用いた植物の病害防除技術開発の研究の副産物として、これを主な蜜源とした蜂蜜を生産しており、「琉大ハニーおよび琉大ハニーグラノーラ」という琉球大学ブランド商品の開発につながった実績を持ちます。これまで、養蜂については、有志数名で実施してきました。そこで、この名を冠した「琉大ハニー養蜂部」を創設し、この部活動では、学生自信が養蜂を行い、現状生産量の少ない蜂蜜（琉大ハニー）の増産を目指しながら、蜂蜜・養蜂の魅力を発信するとともに学術的な研究を展開させる基盤を整備します。また、琉大ハニー商品についてもラインナップを増やすなどブランド力を高め、蜂蜜の地産地消の促進、持続的な養蜂活動を実現したいと考えています。

顧問の私見として、これまでの琉大まんぐろう部の活動では、卒業論文などの教育研究活動だけでは経験できない、地域産業のトップランナーの方々との出会いが、学生の成長を大きく促してくれることを実感しています。一方で、毎年学生メンバーが変わっていくため、一過的なプロジェクトを活動の中心としているため、養蜂のように継続性の必要な課題は、メンバーがいなくなると活動ができなくなる可能性もあります。養蜂を学びたいという明確な活動目的を共通に持つ学生が集まれる場所を新たに作ることで、継続的に養蜂を展開していけます。今回琉大ハニー養蜂部では、クラウドファンディングに挑戦して、部活のスタートアップ資金の支援を募るとともに、養蜂と一緒に学びたい人だけでなく、養蜂の技術・知識を教えてくれる人、蜂蜜の加工業者など、さまざまな人とのつながりを新たに作りたいと考えています。様々な分野の支援者たちとの出会いによって、この養蜂部は、地域産業振興という社会貢献に資する人材育成の場になるものと期待しています。



琉球大学（農学部圃場）で養蜂活動をします。活動を通して、沖縄の養蜂と、蜂蜜の魅力学び、発信したいと考えています。



琉大ハニー養蜂部を応援してくれる「仲間」を集めています。



琉大ハニー

RYUDAI HONEY
University of the Ryukyus

琉大ハニー（琉球大学ブランド商品）の増産を目指します。



琉大ハニーグラノーラ（大宜味村オキナワカカオ）製造体験などで地域産業を学びます。

for Good! ソーシャルグッドなクラウドファンディング

はじめる さがす ForGoodとは? NEWS&BLOG 三

沖縄の自然×おいしいハチミツ 琉大ハニー養蜂部を作りたい！

◎ 琉大ハニー養蜂部

支援総額
¥0

目標金額 ¥400,000

0%

支援者数 0人

残り 0日

沖縄は養蜂日本一!!
そのハチミツをもっと活用 for!

クラウドファンディングを利用して、琉大ハニー養蜂部の支援者を募っています。
新しいつながりができることによって、活動の幅が広がるものと期待しています。
クラウドファンディング For Good のサイト↓

<https://rescuex.jp/project/110556>

